

運用例5 自習教室でのeトレ運用

全科目に対応した自習室の専用教材として、 生徒個々のニーズに対応

eトレの活用方法としては、有料の演習授業としての運用の他、自習教室での専用教材として生徒に自由に使える方法があります。小1から高3までの18万ページの膨大な問題データベースから、生徒は必要なプリントを即座に準備することができます。また、各単元に用意されている「ラーニング」という解説プリントは、それだけで要点のまとめが一読できるので、テスト前などに有効活用できます。生徒それぞれの学校の進度に合わせた学習やテスト対策など、塾の授業だけでは対応しきれない広い範囲に、自習教材として役立ちます。

また、自己判断で学習単元を選ぶことのできる高校生にとっては、センター対策などにおいても特に力を発揮します。



eトレ演習概要

時 間	フリータイム
料 金 設 定	定額固定料金
人 数	制限なし
ク ラ ス 構 成	学年設定なし・科目設定なし
対 象	小学生・中学生・高校生
演 習 内 容	自習室にて生徒が自由に利用
チ ャ ー タ ー	不要(生徒がeトレを操作する場合)
機 器	eトレ用パソコン1台+プリンター1台
経 費 の 目 安	eトレを限定コース(25名制限)3ユニットで契約、50名の生徒が月に各30枚プリントを印刷した場合 eトレ月額使用料¥32,000+用紙・トナー代¥3,750=¥35,750 ※(用紙0.5円/枚+トナー代2円/枚)×30枚×50名=3,750円

eトレ料金例

自習室利用料(eトレ利用料含む)	料金
月 額 料 金	1,000円